

令和7年度

事業名 地域と学校の連携・協働推進セミナー	
期 日 令和7年10月16日(木)	
参加者 97名	
趣 旨 地域全体で子供達の成長を支え、地域づくり・人づくりを目的とした地域学校協働活動とコミュニティ・スクールを一体的に推進するために、関係者の理解促進と連携の構築を図り、今後の取組の充実につなげる機会とする。	
活動の様子	
【サブプログラム】〈交流〉「CSマイスター相談会 in 篠栗」	
文部科学省CSマイスター 西 祐樹 氏	
	参加者は地域、学校、行政と様々な立場の方8名でした。それぞれの活動の現状や課題を出し合い、情報交換を行いながら西氏からもアドバイスをもらいました。少人数ならではの打ち解けた雰囲気の中で参加者同士でも質問し合うなど、活発な意見交流が行われました。 参加者からは「様々な立場の方の本音が聞けて有意義だった。」「話をたくさん聞いてもらえ、ありがたかった。」「ヒントをたくさんいただいた。」等の声が聞かれました。
【メインプログラム】〈説明〉「本研修会の趣旨について」	
福岡県立社会教育総合センター社会教育主事 高木 昇太	
	まず、地域学校協働活動とコミュニティ・スクール、それらの一体的推進の目的や仕組みについて説明しました。さらに、なぜ取組が必要とされているのかや国の推進方針、本県の現状としてコミュニティ・スクール導入は進んできたものの、多くの方が「事業への理解不足」や「他者との連携不足」等の課題を感じていることを示しました。 参加者からは「活動の意義がわかった。」「仕組みが必要だと感じた。」等の声が聞かれ、研修会の趣旨を捉え、研修意欲が高まった様子を伺うことができました。
【メインプログラム】	
〈講話〉「どうする？コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」	
文部科学省CSマイスター 西 祐樹 氏	
	西氏は春日市教育委員会でコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の推進に取り組まれ、その後文部科学省でもコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を担当されました。現在は春日市に戻られ、CSマイスター



として全国を取組に関わっていらっしゃいます。

本研修では、子供や学校、地域、家庭にとってのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動に取り組むことのよさや必要性を全国の事例を交えながら、御講話いただきました。また、学校運営協議会をより有意義なものにしていくためのプロセスや地域学校教活動推進員の役割、活動に関わる人々が当事者意識をもつことの重要性などについて御教示いただきました。

参加者からは、「様々な立場からの活動の利点を、実例を交えながら述べられていたので説得力があった。」

「学校により多くの大人を入れることの意味、良さを改めて感じる事ができた。」や「教員・地域双方のマインドの転換が不可欠であり、学校を地域資源として活用する発想の広がりが求められていると思った。」等の声が聞かれ、参加者の一体的推進への理解が深まり、活動への意欲が高まっていることが感じられました。

【メインプログラム】〈演習〉「話してみらん？私たちの地域と学校のコト」

福岡県立社会教育総合センター社会教育主事 高木 昇太



参加者が地域や学校の現状を整理し、課題やその解決方法を考え、エリアを超えたネットワークをつくることを目的として行いました。「地域」「学校」「行政」の3つの立場ごとにグループをつくり、同じ立場の人たちと情報交換ができるようにしました。また、西氏にも会場を回っていただき、参加者からの質問に答えていただきました。



参加者からは、「他地区の方のお話を伺う貴重な機会になった。」「すべて違う内容で、それぞれに課題もあることがわかった。」や「悩みベースで話し合うことができ、モヤモヤを共有することができた。これから取り組むべき方向性もわかった。」等の声が聞かれ、同じ立場で活動に取り組んでいる方々との交流を通して、今後の活動への見通しがもてたり、つながりづくりができたことなどが伺える演習になりました。

参加者の声

- 学びを深める貴重な機会となった。
- 講話が面白く、演習でいろいろな市町村の方の意見・実例が聞けてよかった。
- 意見交流で聞くこと、話すことを通して考えが深まり、理解が深まった。
- うまくいっている学校の例を聞くことができ、どのようにしたらより活動が活発化するかイメージすることができた。